

神谷町トラストタワー(ランドスケープ)

Kamiyacho Trust Tower

No. 10-064-2020作成
新築
事務所/ホテル/飲食

発注者	森トラスト	カテゴリー	
設計・監理	安井建築設計事務所 / 清水建設 / 建築設備設計研究所 ランドスケープ・プラス / ワークテクト / 金剛組 YASUI ARCHITECTS & ENGINEERS / SHIMIZU CORPORATION / KENCHIKU SETSUBI SEKKEI KENKYUSHO / LANDSCAPE-PLUS / WORKTECHT&Co. / KONGOGUMI	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO2技術
施工	清水建設(建築工事のみ記載) 神社棟: 金剛組	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB
		E. リニューアル	F. 長寿命化
		G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携
		I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性
		K. その他	

緑に包まれた超高層ビルディングの新たなフットデザイン

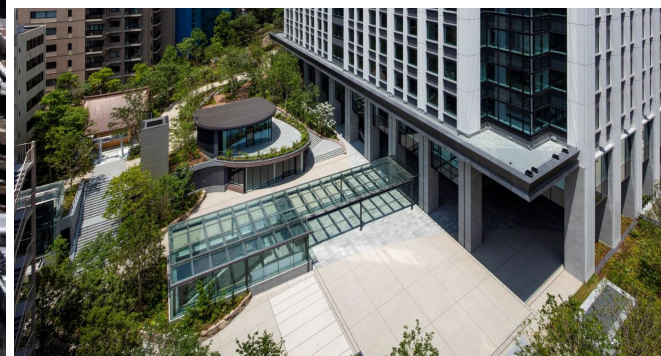


当地区は国際性豊かなエリアに位置しながらも港区まちづくりガイドラインに基づく歩行者ネットワークの整備、強化が求められていた。同時に街区内部では既存樹木保全や新たな緑化の創出による良好な市街地環境の実現が課題であった。

こうした地区の課題を解決するため、高低差約10mの街区内部に新たな交通幹線となる幅員12mの区道を新設、既存区道の電線地中化と併せ新植街路樹による美しい景観づくりを行った。

敷地内ではその高低差を活かしながら総面積約5,500m²の緑地を創出し、東京のみどりのネットワークを強化している。また、樹齢約100年と謂われる大クスノキの移植、葺城稲荷神社の再整備など、東京に相応しい歴史を語る保全も行っている。

地形の高地差を利用したせせらぎビオトープや空積み野面石積などは生物多様性、生態系の保全を担い、敷地内に巡らせるバリアフリー整備された歩行者ネットワーク通路の各所には、建物低層へ設けた賑わいのテラスと融和する豊かな緑が東京の新たな坂の景観を創っている。



外観写真 超高層ビルの足元を囲う高低差の地形“葺城の森”

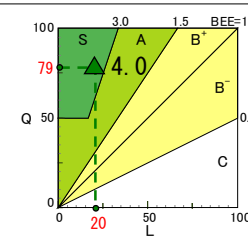


武蔵野台地の突端と一致する西久保城址跡のフォルム

建物データ	
所在地	東京都港区
竣工年	2020年
敷地面積	16,210m ²
延床面積	198,774m ²
構造	S造(柱CFT造)、一部SRC造・RC造
階数	地下4階、地上37階

省エネルギー性能	
PAL削減	25%
ERR(CASBEE準拠)	34%
LCCO ₂ 削減	6%

CASBEE評価	
Sランク	
BEE=4.0	
2014年度版 自己評価	



土地の記憶を活かしたランドスケープ

武蔵野台地の突端と東京低地の約10mの高低差は現代に大地の記憶を残す。江戸期より鎮座する“葺城稲荷神社”の再整備、樹齢約100年の大クスノキの立曳移植、“葺城の森”に歴史を承継しながら、ビオトープによる水系の場を復活させている。



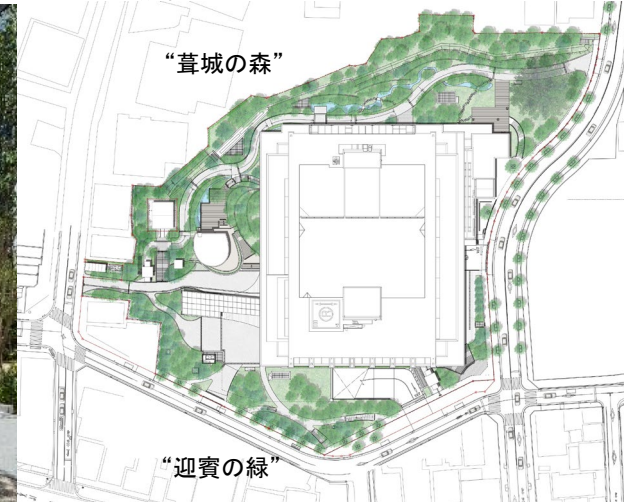
“葺城の森”の歩行者ネットワーク通路と賑わいデッキ



“葺城の森”のせせらぎビオトープ

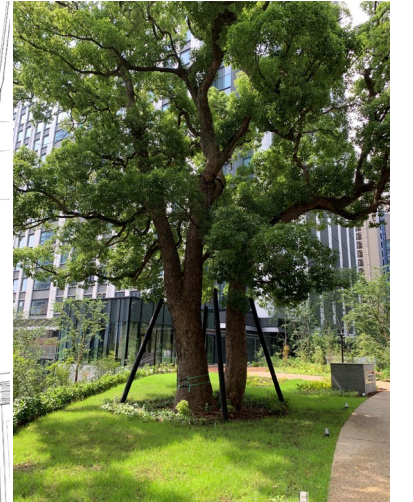


再整備した“葺城稲荷神社”

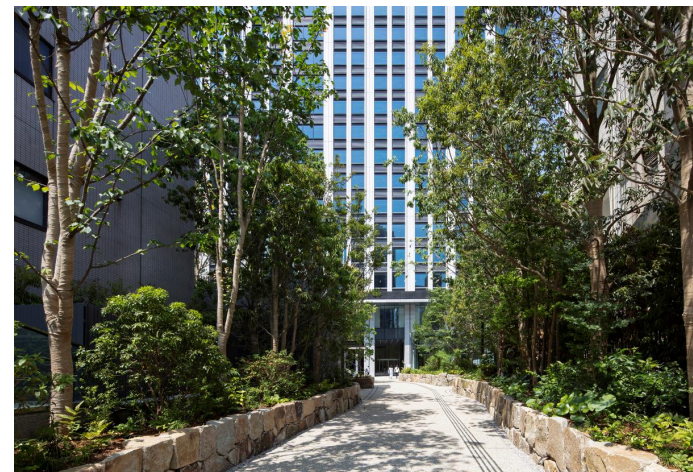


“葺城の森”

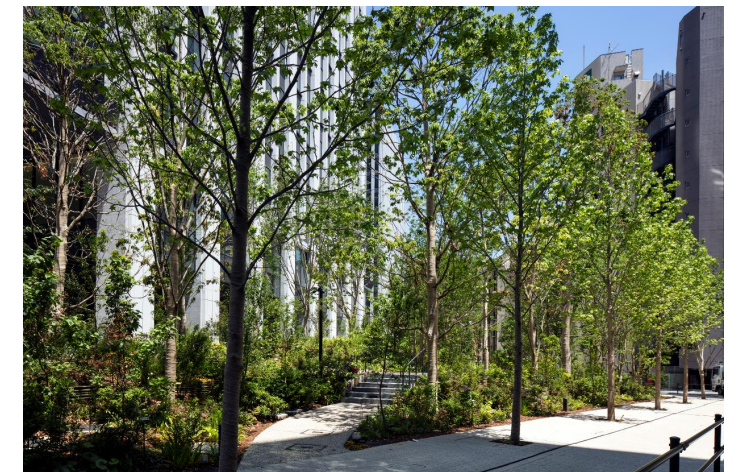
“迎賓の緑”



立曳移植した“大クスノキ”



エントランスへと通ずるアプローチ



“迎賓の緑”南アプローチ

設計担当者

基本設計・実施設計監修・工事監理監修: 熊谷泰彦、松島忍、上田至一、高桑雅史(安井建築設計事務所)、実施設計・工事監理/建築: 寺尾浩康、石橋英史、信藤順一郎、小松辰也、猪股悠、近藤亮治、構造: 今井克彦、青木貴(清水建設株)、基本設計・実施設計・工事監理(設備・電気)/設備: 加藤孝、電気: 野溝恒存(建築設備設計研究所)、ランドスケープデザイン: 平賀達也(株ランドスケープ・プラス)、照明デザイン(外装・外構照明デザイン): 金田篤士(株ワークテクト)、神社棟(設計施工): 株金剛組

主要な採用技術(CASBEE準拠)

- Q2. 2. 耐用性・信頼性(パッシブ制振装置(シミズ・スイングマスダンパー))
- Q3. 1. 生物環境の保全と創出(外構緑化、地域の郷土種への配慮、ビオトープ、建築緑化の風対策)
- Q3. 3. 敷地内温熱環境の向上(風状況把握と建築物形状配慮、空地率確保、緑・水面設置での気温上昇抑制、人工緑化地盤)
- LR1. 1. 建物外皮の熱負荷抑制(ウォールスルーパッケージ、高性能Low-eガラス)
- LR1. 3. 設備システムの高効率化(電動ブラインド、照明・照度センサー制御、太陽光発電、蓄電池システム、地域冷暖房)
- LR2. 1. 水資源保護(節水型機器、雨水利用、雑排水利用)